

町田市スポーツ推進計画の5カ年の振り返りについて

1 課題に対する取り組み状況

当初課題		課題への主な取り組み	
ライフスタイルの多様化等に伴う地域コミュニティの希薄化		地域スポーツクラブのモデル事業	
子どもの体力・運動能力の低下		ライフステージ別スポーツ推進	
働き盛り世代の生活習慣病の増加			
基本施策	基本施策	達成状況	達成率
1.地域におけるスポーツの推進	子どものスポーツ推進	達成	75% (3/4施策)
	成人のスポーツ推進	達成	
	高齢者のスポーツ推進	未達成	
	障がい者のスポーツ推進	達成	
2.市民スポーツの環境づくり	地域スポーツの場の整備	達成	33% (1/3施策)
	地域スポーツの仕組みづくり	未達成	
	既存スポーツ施設の有効活用	未達成	
3.ホームタウンチームへの支援と協働	交流の活性化	達成	100% (3/3施策)
	運営支援	達成	
	広報・告知活動の充実	達成	
4.「トップスポーツ」の環境づくり	競技スポーツの場の整備	達成	75% (3/4施策)
	競技スポーツの連携強化	達成	
	障がい者スポーツの活性化	達成	
	顕彰制度・奨励制度等の活性化	未達成	
5.スポーツのまちづくり	スポーツ・ツーリズムの推進	未達成	0% (0/5施策)
	公園等におけるスポーツ施設の整備	未達成	
	広域スポーツのブランド化	未達成	
	公共スポーツ施設のユニバーサルデザイン化	未達成	
	スポーツ情報発信力の強化	未達成	

2 目標達成状況

指標	計画初期値	目標値	実績値	達成見込み
① 週1回以上スポーツを実施する市民の割合(スポーツ実施率)	40.3% (2012年度)	60% (2018年度)	60.9% (2018年度)	達成
② 地域スポーツクラブの総クラブ数	4クラブ (2012年度)	20クラブ (2018年度)	9クラブ (2018年度)	未達成 ※1
③ 町田市を本拠地とするホームタウンチームのホームゲームでの年間観戦者数	90,280人 (2012年度)	170,000人 (2018年度) ※2	130,855人 (2018年度) ※3	未達成

※1 計画策定後、半径約2km圏内に1クラブを目安とする目標値(市内10クラブ設立)に転換している。

※2 FC町田ゼルビア 1試合平均観戦者数目標7,000人×ホームゲーム試合数21試合=147,000人

ASVペスカドーラ 1試合平均観戦者数目標1,500人×ホームゲーム試合数15試合=22,500人

※3 FC町田ゼルビア 1試合平均観戦者数4,946人、ホームゲーム(21試合+天皇杯1試合)年間観戦者数18,804人

ASVペスカドーラ 1試合平均観戦者数1,575人、ホームゲーム(14試合)年間観戦者数22,051人

3 振り返り

【取組状況の振り返り】

- 「1.地域におけるスポーツ推進」については、関係各課（こども生活部、保健所等）や体育施設・運動施設の指定管理者が計画の趣旨を踏まえ、新たな教室プログラムを実施するなど積極的に事業を推進したことにより、ライフスタイル別の各事業に関して、概ね良好に推進できた。2017年度から高齢者向けの教室を「子どもと高齢者の体力向上推進事業」の一環として開始し継続して実施している。町田市の基本計画における重点施策として、次期計画でも継続して実施していく。
- 「2.市民スポーツの環境づくり」については、2018年11月に学校跡地を多目的グラウンドとして整備した「緑ヶ丘グラウンド」がオープンするなどスポーツの場の充実を図ったが、地域スポーツの仕組みづくりや既存施設の有効活用等が十分ではなく、一部の取り組みを達成することはできなかった。
- 「3.ホームタウンチームへの支援と協働」については、ホームタウンチームと市民、庁内各課等の連携の仕組みを構築することができたため、すべての取り組みが達成となった。
- 「4.『トップスポーツ』の環境づくり」については、ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会のキャンプ地として合計4か国（ナミビア、中国、インドネシア、南アフリカ）の招致に成功したことや総合体育館に大型バスの乗降場、陸上競技場に大型映像装置を整備したことなど、国際大会などの大規模スポーツイベントの開催に向け、環境の整備が進んだ。顕彰制度、奨励制度については、周知方法等を検討し東京2020大会に向け活性化を図る。
- 「5.スポーツのまちづくり」については、持続的な体制づくりや事業の枠組みの確立、効果的な情報発信をすることができなかったため、すべての取り組みが未達成となった。次期計画では取組内容を見直し、引き続きスポーツのまちづくりについて取り組む。
- アクションプランの着実な実施のための推進体制が確立していなかったため、スポーツ振興課が実施主体ではない事業の進捗管理が不十分であった。

【目標達成状況の振り返り】

指標①指定管理者や地域スポーツクラブ等がスポーツ施設や市民センターを利用して様々な年代を対象とした教室事業を実施したことで、身近なところでスポーツに参加する機会を提供できたため、市民のスポーツ実施の目標を達成することができた。

指標②当初は国の計画に基づき、全ての中学校区に1クラブ、計20クラブの設置を目標に掲げたが、国の方針転換等により、目標値を「半径約2km圏内に1クラブを目安とする目標値（市内10クラブ設立）」に転換した。現在、市内で活動する地域スポーツクラブは9クラブあるが、設立済みの地域は8地域で、南地域・三輪地域でのクラブ設立がされていないのが課題である。

指標③ホームタウンチームへの支援と協働について、アクションプランに基づき積極的に事業を実施し、推進施策ごとの目標を達成することはできたが、ホームタウンチームのホームゲーム観戦につなげることができなかった。達成目標の指標が天候やホームゲーム試合数等の外的要因に左右されやすいものではあるが、交通アクセスの改善やホームタウンチームの魅力発信などが今後の課題である。